

議 事 録

会 議 名	令和6年第2回港警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和6年5月30日（木） 午後3時00分から午後4時55分までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>港警察署 講堂</p>
出 席 者	<p>1 委員 布目雅尚会長 本部智大副会長 猪飼由美子委員 加藤昌子委員 鈴木護委員 高橋広委員 徳森エリカ委員 初谷ひとみ委員 山田歆子委員 渡邊智久委員 以上10名（定数12名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員 稲垣署長 岡本副署長 豊留警務課長 金子会計課長 安武生活安全課長 永野地域課長 西浦船舶課長 飴谷刑事課長 中野交通課長 後藤警備課長 以上10名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	「安心」で「安全」な港区を実現するために効果的な情報発信方策
答 申 等 の 概 要	<p>(1) 学校関連施設等に出向き、教職員や管理者等に対して、啓発活動を実施し、アイチポリスの登録等を依頼する。</p> <p>(2) イベントやキャンペーン等の機会に啓発活動を実施する。</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年8月下旬頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
4	管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
5	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（交通課長説明）
	(1) 諮問事項
	新入学シーズン及び行楽期における小学生の交通安全対策について
	(2) 答申事項
	ア 4月中に新入学児童及び保護者に対する交通安全啓発活動の実施
	イ 下校時に警察官が帯同し、交通安全指導などの実施
	ウ 小学生の自転車事故を防止するための交通安全教育の実施
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	○ 入学式における交通安全及び防犯指導の実施
	○ 教員からの新入学児童及び保護者に対する交通安全等の啓発活動の 実施
	イ 答申事項イについて
	○ 登下校時における見守り活動の実施
	○ 下校時における交通安全及び防犯指導の実施
	○ 私服警察官による警戒活動の実施
	ウ 答申事項ウについて
	○ 小学校における愛知県警察第一交通機動隊自転車対策小隊「B-
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
Force」及び交通課員による自転車訓練の実施	
○ 商業施設等における交通安全教室等の実施	
○ 自転車利用者に対する指導取締活動の実施	
6 諮問（警務課長説明）	
(1) 諮問事項	
「安心」で「安全」な港区を実現するために効果的な情報発信方策	
(2) 諮問事項の設定理由	
警察に対する県民の理解と協力を得る広報手段として、防犯意識の高揚	
や安心感の醸成を図る有用な愛知県警察公式アプリ「アイチポリス」（以	
下、「アイチポリス」という。）の認知度を広め、登録者数を増やす必要	
がある。	
7 協議	
委員	・ アイチポリスの登録者数が、管内人口比率の1パーセント程度で
	ある。
	・ 登録者数を増やすため、登録者数が多い他の署の施策を参考にし
	てはどうか。
委員	・ こども110番の看板が、多数の会社事務所に設置されているた
	め、この事務所にアイチポリスの広報チラシを置いてはどうか。
委員	・ 小学校、中学校、高校などの学校関連施設に出向き、保護者、子
	供、教員、住民らにアイチポリスの広報活動をしてはどうか。
委員	・ 会社、各業界等の会合などに出向いて、アイチポリスの広報活動
	をしてはどうか。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイチポリスは、情報が多すぎるため、閲覧すると疲れる。 ・ 自分が必要としているコンテンツがあれば、アイチポリスを登録するため、いかに必要であるかを広報してはどうか。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイチポリスは作り手の思いが反映され、市民のニーズが反映されていないのではないか。 ・ 市民のニーズを把握するため、市民モニターを募ったり、あるいは利用者から直接の意見、要望を聞くなどして、コンテンツを作成してはどうか。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイチポリスを知っていても、使いこなすことができない人がいるため、アイチポリスの登録方法、利用方法を教示することが必要ではないか。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高年が参加する地域会合で、アイチポリスに交通や防犯に関することなど、様々な機能が付いていることを紹介したところ、参加者が関心を示した。 ・ 地域会合などに出向き、アイチポリスはいかに良いアプリであるかと広報して、参加者が「登録したい。」と思わせることが必要ではないか。 		
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイチポリスの登録数を増やすためには、3点あると思う。 ・ 1点目は、アイチポリスを知ってもらうため、広報チラシなどを配布してはどうか。 ・ 2点目は、アイチポリスを登録してもらうため、メリットをアピールして、登録する動機付けに防犯グッズなどの景品を配布しては 		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
どうか。	
・ アイチポリスを継続的に利用してもらうため、定期的な広報活動の実施、遊び感覚でポイントがたまる機能の付加、パトロールの告知などを実施してはどうか。	
委員 ・ アイチポリスを登録してもらうだけでなく、登録者に興味をもってもらい、継続的に利用してもらうため、ターゲットを絞った情報発信が必要ではないか。	
・ 痴漢撃退などの防犯ブザー機能の対象者は、主に女性であると考えた場合、高校へ出向いて、女子高生から広めてもらってはどうか。	
・ 利用者のニーズに合ったポップアップ機能を付加してはどうか。	
委員 ・ 他県の警察で、インフルエンサーなどが、SNSなどで同種アプリを紹介した結果、登録者数が増加したと聞いたことがあるため、インフルエンサーなどに紹介してもらってはどうか。	
8 答申	
(1) 学校関連施設等に出向き、教職員や管理者等に対して、啓発活動を実施し、アイチポリスの登録等を依頼する。	
(2) イベントやキャンペーン等の機会に啓発活動を実施する。	
9 その他	
次回の開催予定は、令和6年8月頃とする。	
記録者	警務係長